

# 田子の浦港



## 静岡県交通基盤部港湾局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

☎054-221-3056

URL : <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki3/tagonoura/index.htm>

## 1. 概況

### 〈沿革〉

田子の浦港は、駿河湾の最奥部に位置し、富士山麓の南を流れる沼川と潤井川の合流点に建設された掘込式港湾である。

田子の浦港背後の岳南地域は、広大な富士山麓を背景に、温暖な気候と良質で豊富な地下水に恵まれている。そのため、遠く江戸時代から「駿河半紙」の特産地として名高く、近代になると製紙・パルプ工業を中心とする軽工業が発達した。そして戦後は、自動車・電機等の大企業が進出し、関連中小企業の設立、設備投資が相次ぎ、新しい工業地域として脚光を浴びるようになった。

そこで、昭和30年代に入ると、静岡県は産業基盤整備を中心とした総合開発計画を策定し、この岳南地域に駿河湾臨海工業地帯の拠点となる「工業港」の建設を決定した。昭和33(1958)年から、砂浜海岸の掘込式港湾では苦小牧港と共にわが国で最も早く田子の浦港第1期修築工事に着手した。田子の浦港海岸は、国内最深の駿河湾に面した急峻な海底勾配を有し、太平洋の荒波を直接うける漂砂海岸であり、厳しい施工条件であった。昭和36(1961)年に開港を迎え、翌37(1962)年に第一船の入港など、港湾管理体制が着々と整えられ、昭和39(1964)年に重要港湾の指定、同年工業整備特別地域の指定、昭和41(1966)年に貨物の輸出入と外国船の入出港が可能となる関税法による開港の指定を経て、昭和45(1970)年、着工以来12年の歳月と総工費130億円を投じた整備が完成し、名実ともに国際貿易港の仲間入りを果たした。

その後、我が国の経済の成長に合わせ、港湾の整備とともに、背後には豊富な工業用水を利用した製紙、化学工業等の製造業、また港内には石油配分基地、セメントサイロ等が多く立地し、本港はこれら企業の原材料供給基地としての役割を担うなど、国際及び国内海上輸送網の拠点として重要な役割を果たしている。

### 〈現況〉

令和6(2024)年の取扱貨物量は、外貿90万トン、内貿189万トン、合計279万トンに達し、主な貨物として石油製品、とうもろこし、セメント、紙・パルプ、重油等を取扱っている。近年では、物流需要の増大及び船舶の大型化に対応するた

めに、平成9(1997)年より中央埠頭において水深12mの岸壁改修工事に着手し、平成15(2003)年に中央1号岸壁を、平成23(2011)年に中央2号岸壁及び泊地・航路の増深・改良が完了した。現在は、大型の穀物船や鉱石船の荷役に利用されている。

また、平成12(2000)年にダイオキシン類対策特別措置法が施行、平成14(2002)年には水域の底質にかかる新たな環境基準が制定され、本港の底質土砂の一部が環境基準値を越えることが確認された。このため、「田子の浦港底質(ダイオキシン類)浄化対策事業計画」及び「富士地域公害防止計画」に基づき、ダイオキシン類を含む汚染底質を除去するため、平成16(2004)年に公害防止事業による浚渫除去工事に着手し、泊地・航路の増深改良事業と連携して底質の浄化を進めた結果、底質が環境基準に適合することを確認し、令和5年3月の底質浄化対策検討委員会において、汚染底質除去完了が承認された。

一方、令和元(2019)年には、田子の浦港漁協食堂を核とし、「ふじのくに田子の浦みなと公園」「鈴川海浜スポーツ公園」を含む一連の施設が「みなとオアシス田子の浦」に登録され、令和5(2023)年には、外航クルーズ船としては初となる「スターブリーズ」が寄港するなど、富士山に一番近いみなととしての利点を活かした交流やにぎわいの拠点として、さらなる発展が期待されている。

### 〈これからの田子の浦港〉

田子の浦港が存する富士市は、平成26(2014)年度に田子の浦港の防災対策の推進と観光・交流の促進によるにぎわいづくりの創造を目的として「田子の浦港振興ビジョン」を策定し、田子の浦港漁協食堂とふじのくに田子の浦みなと公園をつなぐ区間を「プロムナードゾーン」として位置付けた。

県としては、田子の浦港を訪れる方々が安心して利用できる港を目指し、引き続き本ビジョンに基づく防災対策や検討が進むプロムナードゾーンの整備を富士市と連携して進めていく。

また、港湾機能の維持を図るため、河川から流入する多量の土砂については計画的に浚渫を実施していくとともに、港口部の航路埋そく対策については引き続き国と連携して取り組んでいく。

## 2. 港勢

### 入港船舶

トン数別 種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	71	950,176	17	540,686	14	304,183		
内航商船	1,304	1,632,901			31	403,935	14	121,185
自航 その他	16	11,291						
合計	1,391	2,594,368	17	540,686	45	708,118	14	121,185

トン数別 種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	11	49,099	29	56,208				
内航商船	119	514,994	11	18,072	169	139,407	960	435,308
自航 その他			6	9,268	2	1,140	8	883
合計	130	564,093	46	83,548	171	140,547	968	436,191

最大入港船舶のトン数 40,322総トン（喫水 9.98m）

### 海上出入貨物

品種 項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	38,467	100.0								
輸入	826,699	100.0	280,414	33.9	305,725	37.0	182,669	22.1		
計	865,166	100.0	280,414	32.4	305,725	35.3	182,669	21.1		
移出	230,022	100.0	4,640	2.0	6,088	2.6	18,883	8.2		
移入	1,738,867	100.0	107,857	6.2			130,245	7.5	221,016	12.7
計	1,968,889	100.0	112,497	5.7	6,088	0.3	149,128	7.6	221,016	11.2
合計	2,834,055	100.0	392,911	13.9	311,813	11.0	331,797	11.7	221,016	7.8

品種 項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出							38,467	100		
輸入	21,726	2.6	33,234	4.0			2,931	0.4		
計	21,726	2.5	33,234	3.8			41,398	4.8		
移出	15,119	6.6	46,790	20.3			138,502	60.2		
移入	1,101,168	63.3	178,581	10.3						
計	1,116,287	56.7	225,371	11.4			138,502	7.0		
合計	1,138,013	40.2	258,605	9.1			179,900	6.3		

### 外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

### 乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路			
計			

### 3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟数	使用 面積 (㎡)	
(公 共)											
中央埠頭	1号	12.0	240	30,000	1	機械式連続U	t/h 400	1			とうもろこし、セメント
	2号 (耐震)	12.0	240	30,000	1						木材チップ、セメント 石炭
	3～4号	7.5	250	5,000	2						原塩、紙・パルプ 再利用資源
吉原埠頭	1号	9.0	167	10,000	1				1	2,160	動植物性製造飼肥料
	2号	7.5	125	5,000	1				1	1,800	鋼材、金属くず
富士埠頭	1号	10.0	240	12,000	1				2	4,840	紙・パルプ、鋼材 石灰石 砂利・砂
	2号	7.5	135	5,000	1						
	4号	6.5	115	3,000	1						
	5号	7.5	120	5,000	1						
	6号	7.5	130	5,000	1						化学薬品
鈴川埠頭	1～2号	5.5	175	2,000	2				3	4,650	紙・パルプ、鋼材 金属くず、製造食品
	3～5号	5.5	310	2,000	3						
石油埠頭	1～2号	7.5	145	5,000	1	マリンLA	t/h 700	2			揮発油、 その他の石油、重油
	3号ドルフィン	5.5	2,000	1	t/h 800		2				
					t/h 700		1				
					t/h 800		1				
	4号ドルフィン	5.5	2,000	1	t/h 800		1				
5号ドルフィン	5.5	2,000	1	t/h 800	1						

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場	-	41,692㎡
荷さばき地	-	34,438㎡
普通倉庫		
1～3類倉庫	24	48,525㎡
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	79	91,668㎡
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-
船舶陸上保管施設	-	7,444㎡

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地		
中央泊地	4.5～12	359,200
鈴川泊地	5.5	51,400
鈴川西泊地	7.5	8,686
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
-	-

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	10,148
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

### 4. コンテナターミナルの概要

該当なし

### 5. マリーナ

該当なし

## 6. 緑地

名称	区分	面積(m <sup>2</sup> ) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
駅南公園		3,925 (40)		修景緑地	昭和48年度	ブランコ1基、すべり台 1基、砂場1カ所	トイレ、ベンチ、照明灯 水のみ場
中央緑地		2,570 (30)		修景緑地	昭和49年度		
駅前公園		1,750 (30)		修景緑地	平成3年度		トイレ
前田公園		2,753 (20)		修景緑地	昭和51年度		トイレ
沼川公園		1,000 (30)		修景緑地	昭和54年度		トイレ、照明灯 水のみ場
依田橋緩衝緑地帯		7,316 (95)		緩衝緑地	昭和53年度		
鈴川緩衝緑地帯		12,667 (100)		緩衝緑地	昭和53年度		
前田緑地		350 (30)		修景緑地	昭和59年度		
依田橋公園		1,500 (20)		修景緑地	昭和54年度	ゲートボール場1面	トイレ
ふじのくに田子の浦 みなど公園		73,165 (20)		シンボル 緑地	平成24年度	富士山ドラゴンタワー 歴史学習施設ディアナ号	トイレ、ベンチ、照明灯 万葉歌碑
鈴川海浜スポーツ 公園		59,148		休息緑地	平成31年度		トイレ、ベンチ、管理棟

## 7. 基地港湾

該当なし

## 8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種					
			一 般	港湾荷役			は し け	い か だ
				港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸		
田子の浦埠頭(株)	〒417-0015 富士市鈴川町2-1	0545-33-3111	○		○	○		

水先

水先区	水先人会事務所所在地	電話番号	会員数
田子の浦	〒416-0936 富士市中河原28-2	0545-33-0734	2

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
駿河湾曳船(株)	〒424-0924 静岡市清水区清開3-5-40	054-334-6188	2,400	1

医療・厚生施設

(港湾)

区分	名称	所在地	電話番号
現場関係	田子の浦港中央埠頭休憩所	〒416-0937 富士市前田字弥六島629-5	0545-32-0464
	田子の浦港富士埠頭休憩所	〒416-0937 富士市前田地内	

## 9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
名古屋出入国在留管理局静岡出張所	〒420-0858 静岡市葵区伝馬町9-4	054-653-5571
名古屋税関清水税関支署田子の浦出張所	〒417-0015 富士市鈴川町1-2	0545-33-2791
中部地方整備局清水港湾事務所 田子の浦港事務所	〒417-0015 富士市鈴川町1-2	0545-32-1125
中部運輸局静岡運輸支局清水庁舎	〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-1	054-352-0174
名古屋植物防疫所清水支所	〒424-0922 静岡市清水区日の出町9-1	054-352-3775
清水海上保安部田子の浦分室	〒417-0015 富士市鈴川町1-2	0545-31-0118
静岡県田子の浦港管理事務所	〒417-0015 富士市鈴川町2-1	0545-33-0495
富士警察署吉原駅前交番	〒417-0015 富士市鈴川町5-9	0545-33-0042
富士市中央消防署臨港分署	〒417-0015 富士市鈴川町5-7	0545-33-2542

